

岐阜県職員倫理憲章 多治見看護専門学校実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すため、平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり多治見看護専門学校実行計画を定めます。

令和6年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や情報公開制度、個人情報保護制度の主旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理・取扱いに努め、セキュリティ事故を防止します。
- 公務員であることの重みを自覚し、常に公平・公正を心がけ、公私ともに社会的な責任を認識して行動します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 事務用品及び教育実習用品の在庫管理の徹底・再利用の促進による経費の節減に努めます。
- 職員に時間管理の重要性を徹底し、時間外勤務の縮減に努めると共に、前例にとらわれず常に工夫すべきことはないかを考えながら業務を遂行します。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 各種研修会等に積極的に参加し、基礎知識や専門的技術・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。
- 職員一同が本学の教育理念や目標を自覚し、質の高い教育サービスの提供を目指します。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 学内の緊急連絡網を整備し、職員、学生ともに不測の事態発生時に迅速な対応を図ります。
- 防災訓練や授業等を通じて、防災意識や危機管理意識を高めます。
- あらゆる情報に細心の注意を払い、上司への迅速な状況報告・適切な対応により問題発生を未然に防止します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、所属長の統一的な指揮のもと、速やかな情報収集・報告・分析や応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施等に当たります。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 職員会議は月1回、教務会議は随時開催し、職員間の情報共有を図るとともに、課題等の解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見等が行える雰囲気づくりに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 毎年学生と共に行っている清掃ボランティア活動を継続して行います。
- 環境にやさしい物品の購入や、買い物時におけるマイバック持参等、地域においても、環境保全運動に積極的に取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信に当たっては、学校のホームページやマスコミなど、多様な広報媒体を効果的に活用するとともに、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。
- 教育活動の状況や受験等に関する情報を随時提供し、魅力ある学校のPRに努めます。
- 学生・保護者をはじめ、すべての学校に関わる方々の意見・提言を真摯に受け止め、より良い看護教育を進めていきます。